

早稲田大学日本語教育学会 2012年春季大会プログラム

開催日 2012年3月24日(土)

【会場】早稲田大学早稲田キャンパス 15号館 201・202・203 教室

【時間】 受付 12:15～ (15号館 2階ロビー)
 開会式 12:45～12:55 (15号館 202 教室)
 ポスター発表 13:00～14:00 (15号館 2階ロビー)
 口頭発表 14:10～15:50 (15号館 201 教室・202 教室)
 企画 14:45～15:45 (15号館 203 教室)
 博士論文公开发表会 16:00～17:25 (15号館 202 教室)

【ポスター発表】 13:00～14:00

時間	会場：15号館 2階ロビー	
13:00 ～ 14:00	(1) 非母語話者日本語教師と日本人日本語教師がともに日本語教育実践を創造するために —タイ人日本語教師のライフストーリーから—	高井 かおり
	(2) 年少者日本語教育における複数言語環境にある親子を捉える視点とは何か	本間 祥子
	(3) 中国人日本語学習者の日中同形類義語の使用に関する一調査	庄 倩
	(4) 日本語教育学におけるリテラシーを捉えなおす —トランスリテラシーを目指す実践を通して—	トロイツカヤ ナターリヤ
	(5) 初級レベルの日本語学習者は「他者と読むこと」が実現できたのか —他者と一緒に絵本を読むワークショップへの参加を通じて—	奥山 寛・千 花子
	(6) 実践研究における実習生の学び —協働学習観の変容—	込宮 麻紀子・高井 かおり・式部 絢子・金 江月・賈 佳琳

【口頭発表】 14:10～15:50

時間	会場：15号館 201 教室	会場：15号館 202 教室
14:10 ～ 14:40	学習者の「周辺人物」を捉える日本語教育実践を考える —「介護の日本語」への問題提起から— 中村 知生	新人日本語教師の成長には何が必要か —日本語学校に勤務する新人教師のライフストーリーから— 栄畑 南美
14:45 ～ 15:15	話し合う活動における論文テーマの調整 —中国の日本語専攻生の卒論テーマを例に— 楊 秀娥	実践研究における現職教師の振り返り 今井 なをみ・佐藤 貴仁・古川 明子・村上 まさみ
15:20 ～ 15:50	日本語教育の現場における通名使用は何を意味するのか —「在日コリアン」教師の語りからの一考察— 田中 里奈	

【企画】 14:45～15:45

時間	会場：15号館 203 教室
14:45 ～ 15:45	講演「日本語学習アドバイジング —その深さと大切さ— 講演者：奥田 純子 氏（コミュニカ学院） 企画者：古屋 憲章・黒田 史彦（早稲田大学日本語教育研究センター）

【博士論文公開発表会】 16:00～17:25

時間	会場：15号館 202 教室
16:00 ～ 16:40	韓国の日本語教科書に関する研究 —高等学校の教科書にみる日本観を中心に— 金 義泳
16:45 ～ 17:25	授業実践における日本語学習者のコミュニケーション観に関する研究 —「ありたい自分」の実現を支援する教育を目指して— 徳間 晴美

【総会】 17:30～17:40（15号館 202 教室）**【懇親会】 18:00～19:00（22号館 8階会議室）**